



学校キャラバン

○ 福岡第一高等学校

○ 令和8年6月5日

建設産業専門団体九州地区連合会





令和8年度 学校キャラバンについて

第1回 出前授業(福岡第一高等学校) 【概要】

実施日: 令和8年6月5日(金)

参加者: 福岡第一高等学校 建築デザイン科 2年生 30名

場所: 福岡第一高等学校 実習室 (福岡県福岡市南区玉川町22番1号)

【カリキュラム】

※今年度は対象を拡大し、4業種を体験(昨年度は路面標示のみ)

時間(移動込み)	内容	実施者
9:20~9:40	開会式・オリエンテーション	国交省・事務局
9:40~10:25	9~10人ずつ4グループに分かれ、4工種を体験 各45分(移動時間を含む)	下記4団体
10:25~11:10		
11:10~11:55		
11:55~12:40		
12:40~13:00	意見交換会・アンケート	国交省・事務局

作業名	作業内容	協力団体
路面標示	手押しライナーを使ってラインを引きます	全国道路標識・標示業九州協会
足場設置	高所で作業をするための足場を組み立てます	福岡県鳶土工業連合会
鉄筋結束	鉄筋を結束し、建物の骨組みを組み立てます	福岡県鉄筋事業協同組合
型枠組立	コンクリートを流し込むための型枠を作ります	福岡県型枠組合連合会 福友会

オリエンテーションの様子（福岡第一高等学校）

建設産業専門団体
九州地区連合会
宮村会長



角建設産業調整官



建設産業課
桑水流課長補佐



宮村会長（建設産業専門団体九州地区連合会）
建設業が身近な建物やインフラを支え、未来を築く魅力ある仕事であることを伝え、高校生に業界への関心を呼びかけた。

角建設産業調整官（九州地方整備局）
建設業は専門技術を持つ多くの職人・技術者によって支えられ、身近な建物から歴史的建造物、さらには最新の建築物に至るまで、受け継がれた技術で人々の生活と社会を支えていることを伝え、関心を持ってほしいと呼びかけた。

桑水流課長補佐（九州地方整備局）
不動産は売買・賃貸・管理を通じて住まいや事業の場を提供し、空き家対策や高齢者の入居支援などを通じて社会貢献を担っていると説明した。

作業体験の様子（福岡第一高等学校）



路面標示



足場設置



鉄筋結束



型枠組立

意見交換会の様子（福岡第一高等学校）



～意見交換会での質問～

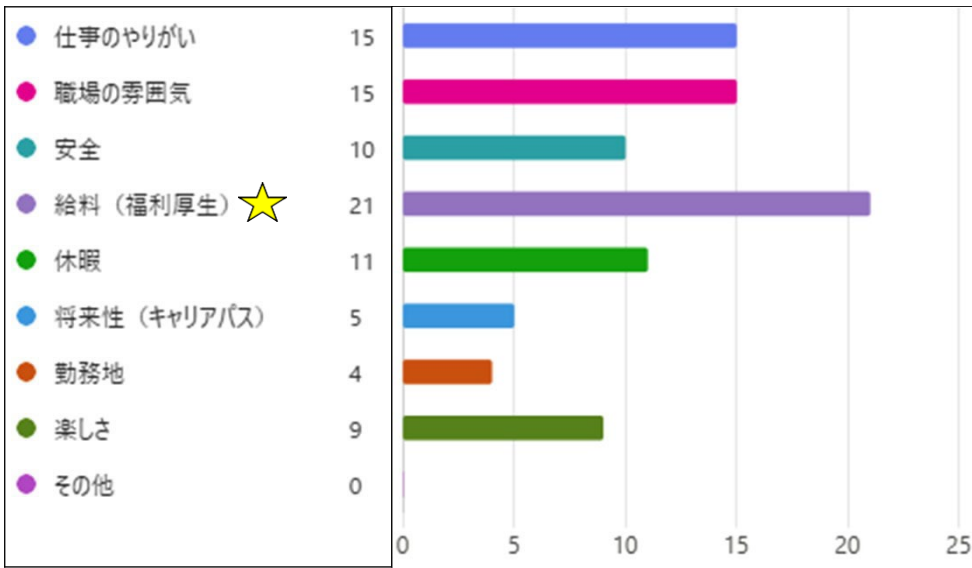
- ・一年間の勤務日数は何日ですか？
- ・入社時に必要なのは学力と人間力どちらですか？
- ・入社一年目（高卒）の月給とボーナスはいくらですか？



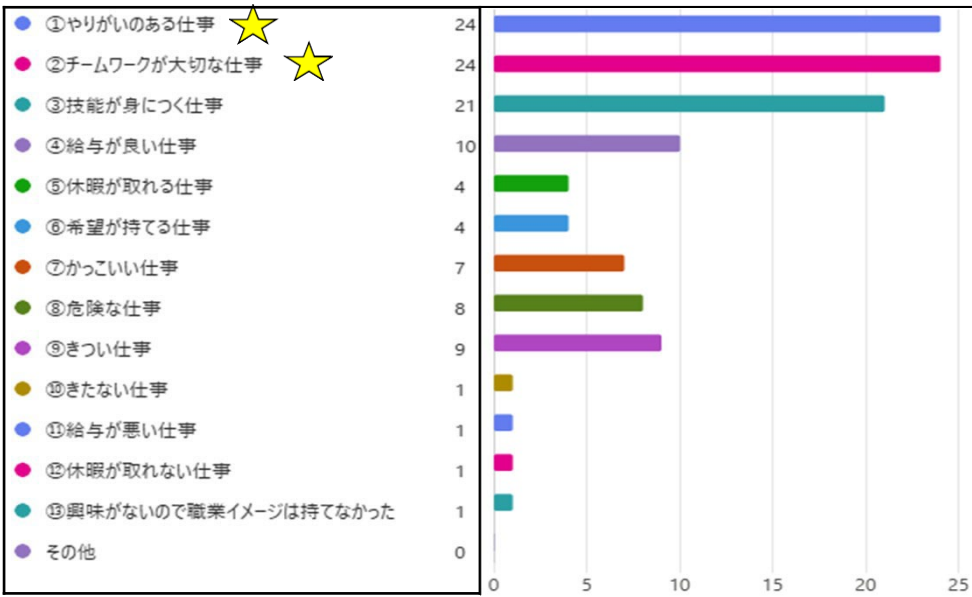
生徒30名のアンケート結果 ①

※アンケートはMicrosoft Formsにて集計

建設業を仕事として選ぶ場合に意識する条件(3つ)



今回の出前授業を含め、建設業の仕事についていう職業イメージがありますか(複数回答)



その他に体験してみたい専門工事業について(複数回答)



今回の出前授業を受け、建設業の仕事が職業選択の一つとなりましたか





生徒30名のアンケート結果 ②

主な感想、興味を持ったこと

- ・少し気になっていた職業の体験ができてよかったです。
- ・とても楽しくわかりやすく興味が湧くものばかりでした。
- ・今日の出前授業で詳しく建築業のことがわかりました。
- ・将来どうなっているかわからないですが建築関連の仕事に着くのもありだと思います。
- ・高校を卒業した後、就職をしようかなと思っているので体験できてよかったと思いました。
- ・昔に試行錯誤して築かれた技術や知識が今より効率的になっていると感じました。
- ・いろいろ勉強しました。たくさん生活によく見えるものの作り方が知りました。例えば、建物の柱、踏み標示など
- ・足場に興味があります。皆さん元気があってとても楽しそうだったのでこの職なら頑張れると思いました。
- ・代表の人の話だけでなく、しっかりとした体験もできて有意義だったと思います。
- ・個人的に鉄筋が一番興味が湧いて、鉄筋を組み立ててから針金のようなもので固定する作業がとても楽しかったです。
- ・職人の方々も優しく楽しく教えてくださっていて、体験しやすい場でとてもいい経験になりました。

教員のアンケート結果

- ・各業種満足いく体験ができていたと思いますが特に好評だったと思う事は、足場のブースにて全体でやり方を教えていただいた後、ゲーム形式のタイムトライアルで作業体験を行っていただいた事が、生徒達も瞬間的に集中してより効果的な体験ができており好評でした。
- ・今回一番印象に残っているのは、生徒が型枠ブースにて釘打ちをしている状況があり、その作業を何気く見ているととても苦戦しており、なぜ建築科で釘の一本も効率よく打ち切らないんだと思ったのですが、ふと考えると実習でも釘打ちを生徒はやった事がないからできない事に気付かされ、私自身深く反省した状況でした。
- ・今回、本校では初の4業種による出前授業でしたが、想像していた以上に貴重な経験ができ生徒達も普段の授業以上に良い意味で疲れていたのがとても印象的でした。また、来年度も引き続き宜しくお願い致します。



新聞報道について

建設工業新聞
令和8年6月8日(月)

九建日報
令和8年6月8日(月)

建設通信新聞
令和8年6月8日(月)

専門工事業の魅力伝える

九州整備局、九州建専連 福岡第一高で出前授業

九州地方整備局と建設産業専門団体九州地区連合会（九州建専連、宮村博良会長）は5日、専門工事業の魅力伝える学校キャラバン（出前授業）を福岡市南区の私立福岡第一高校で開いた。建築デザイン科の2年生約40人が、専門工事業4職種



の作業を体験。生徒と職人の意見交換も行い、専門工事業の役割について

鉄筋結束を体験する生徒ら

理解を深めた。

冒頭のオリエンテーションで、宮村会長は「われわれの仕事は形に残り、人の役に立ち、地域を支える。皆さんの中から一緒に働く仲間が生まれたい」と呼びかけた。

九州整備局の角英幸建設産業調整官は「体験を通じて素晴らしい技術を持った職人から何かを学

び取ってもらいたい」と述べた。

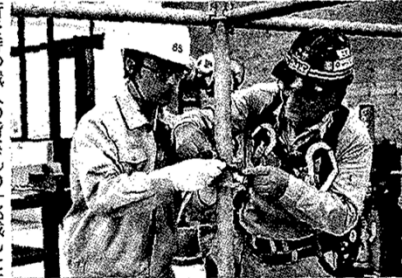
作業体験は九州建専連の会員企業の職人が講師となり、4班に分かれて▽路面標示▽足場設置▽鉄筋結束▽型枠組み立てを一を体験した。参加した生徒は「工期を守るためにも作業のスピードが大変だと感じた。作業の丁寧さとスピードをどうやって両立しているのか」を知りたい」と興味を持っていた。

建設業の魅力伝える

福岡第一高校で出前授業

国土交通省九州地方整備局と建設産業専門団体九州地区連合会（宮村博良会長）は5日、福岡第一高等学校の生徒を対象とした出前授業「写真」では、建設業における次の世代の担い手確保・育成を福岡市南区の同校で開くに向けた取り組みの一環として、建築デザイン科として、各地の学校を訪れる2年生約40人が参加し、専門工事業の体験をし、路面標示や足場設置を実施する出前授業を開催している。

授業の冒頭、九州建専連の宮村会長は「建設の仕事は楽ではないが、未来を自分の手で作っていくような素晴らしいもの。将来、皆さんの中から一緒に働く仲間になる人が出てきてくれるといい」とあいさつ。また、九州地整建設部の角英幸建設産業調整官は「英幸建設産業調整官は、私たちの生活は専門技術



術を持つ職人の皆さんの挑戦した生徒は、取材に手によって支えられている。今日の体験を通じて建設の仕事に興味を持ち、学びを深めてもらいたい」と述べた。

今回は、路面標示、足場設置、鉄筋結束、型枠組み立ての体験を実施した。生徒たちへの指導に当たっては、（一）社 全国道路標識・標線業九州協会、福岡県土木工業連合会、福岡県鉄筋工事協会の協力を得て、事業協同組合、福岡県型

枠組合連合会、福岡会の4団体が協力。参加した生徒たちはそれぞれの工種の担当若から説明を受けつつ、実際の現場での仕事に近い作業を体験した。

手押しライナーを使ったライン引きに挑戦した生徒は、取材に「想像以上に難しく、神経を使う作業だと実感した」と話し、足場の組み立て、解体を体験した生徒は「最も体を動かす作業で、解

九州地方整備局と建設産業専門団体九州地区連合会（九州建専連、宮村博良会長）は5日、福岡市の福岡第一高校で学校キャラバン（出前授業）を開いた。建築デザイン科の2年生約40人が参加し、協力 続いて、同局建設部の角英団体の指導の下、足場設置 幸建設産業調整官らのあいさ

と連 福岡第一高で出前授業

足場設置など体験

や路面標示など4業種の施工、概要説明などのオリエンテーション後、実習室内作業は体験した。写真。冒頭、宮村会長は「建設現場に移って施工体験を行うは地域を支え、自分の手で未来をつくる仕事だ。皆さんの 施工体験では、足場設置、

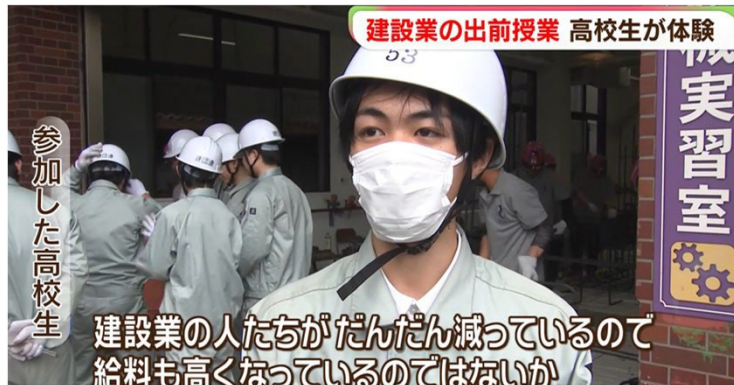
同校の乾弘満進路指導主事は「一学期で抱いたイメージと現場の違いを学んでもいい。さまざまな業種を体験し、将来の進路へ結び付けてもらえれば」と述べた。

路面標示、鉄筋結束、型枠組み立ての4業種を体験した。パイプとクランプを使った足場設置を初めて体験した生徒は「レンチの回し方が難しく、職人はすごいと思った。回す角度などのコツを教わり、作業のスピードが上がった」と感想を述べた。

テレビ報道について



テレビ報道の様子
(FBS)



この模様は、NHK・TNC・FBS・テレQの各局ニュース等において報道されました。